

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年8月12日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.38】

調べもせず 東労組に革マルはいない」となぜ断言できるのか！

前号の通り「革マル派は一人もいない」と豪語する東労組だが、千葉委員長（当時書記長）は2000年10月3日の証人尋問で、誰が革マル派かどうかは調べようがないと思う、と述べた。さらに証言内容を検証していきたい。

(原告側代理人)そうすると、あなた方は(注:公調資料を)事実無根と言うけれども、事実無根かどうかさえ分からない、(注:東労組内部に革マル派が)いるのかも知れないし、いないかも知れないということと違うのでしょうか。(千葉)そういう仮定の論議はちょっとできないですね。(代理人)-(中略)-分かるんですかという質問をしているんですよ。(千葉)誰々が革マル派かということですか。そんなことは分かりません。(代理人)東労組でも分からないわけですよね。(千葉)分かりません。(代理人)あなたは事実無根だと言われたけれども、事実無根かどうか分からないというのが正確な答えじゃありませんか。(千葉)そのようなことはないと思います。そもそもここ(注:公調資料)に書かれていることは事実無根だということです。(代理人)甲11号証(注:公調資料)の18ページの「今夏開催の」というのは、これは1999年1月の文書ですから、1998年のことを言っているんだらうと思いますが、文章の読み方としてはそれによろしいのでしょうか。(千葉)そうですね。(代理人)中央本部 地本定期大会で、同派系労働者多数が組合執行部役員に就任」という事実は、あなたは違とおっしゃるけど、どうやって調べましたか。(千葉)私たちは労働組合なんですね。それで、労働組合としての信任を得て、規約、規則にのっとって、それで役員は決まるわけですね。その方たちが革マル派系ということば、ここにいろいろ書いてますけれども、私たちはそのような事実はないというふうに認識しているということです。(代理人)私の質問は、調べたかという質問なんです。(千葉)調べません。(代理人)例えばあなたは革マルかとか、そういうことをお聞きになったことはないわけですね。(千葉)そういうことはやりません。(代理人)聞いても答えない事項だというふうにはお考えになるでしょう。(千葉)いや、それは分かりませんが、必要のないことだと思います。(注:公調資料)は99年1月公安調査庁「内外情勢の回顧と展望」)

JR総連・東労組は政府側見解を否定する前に疑惑を説明せよ！

千葉氏は、東労組として誰が革マル派かは分からないし、調べてもいないと証言した。そのくせ、数ヶ月後の東労組見解では、革マル派党員は分会長に申し出るよう呼び掛けたが申し出がなかったため、革マル派は「ただの一人もいない」と豪語している。調べようもないのに、なぜ断言できるのか。千葉氏は、上述の裁判で、さらに次のように証言した。

(代理人)公安調査庁というものがやっている限り、初めから何の信憑性もないと、一切そのことに耳を傾ける必要はないんだというお考えですか。(千葉)はい、そう思っております。

千葉氏をはじめJR総連・東労組の役員らは、革マル派が相当浸透していると再三指摘する公安調査庁、警察庁、政府の見解(No.1、No.3参照)は、「権力側の発表だから」という理由で「事実ではない」と決め付けている。「浦和電車区事件」の対応に象徴されるように、彼らは都合の悪いことは何でも「権力の弾圧」として否定するが、そのような言い訳は組合員や社会に通用しない。「革マル派はいない」というなら、「坂入事件」「九州労事件」「トラジャ」「マングローブ」「JR労研」等々、疑惑の真相を説明するのが先決だ！

検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>